

名称	第3期広島広域都市圏発展ビジョン（素案）に対する意見募集
趣旨	<p>広島市と近隣32市町で構成する広島広域都市圏では、圏域経済の活性化と圏域内人口200万人超の維持を目指す「200万人広島都市圏構想」の実現に向け、平成28年3月に策定した広島広域都市圏発展ビジョン（以下「ビジョン」という。）に基づき、取組を進めているところです。</p> <p>こうした中、庄原市から広島広域都市圏への参画に係る要請があり、これを受け、令和8年4月からの連携開始に向けた協議を進めるとともに、今年度末で第2期ビジョンの計画期間が満了することから、引き続き、同構想の実現に向けた取組を推進するため、第3期ビジョンの素案を取りまとめました。</p> <p>については、庄原市との連携開始により、全34市町となる広島広域都市圏の今後の取組などについての御意見を募集します。</p>
意見提出期間	令和7年12月25日（木）から令和8年1月14日（水）まで（必着）
結果の公表日	令和8年2月2日（月）
提出された御意見の要旨とそれに対する本市の考え方	第3期広島広域都市圏発展ビジョン（素案）に対する意見募集については、3人から3件の御意見を頂きました。提出された御意見の要旨とそれに対する広島市の考え方は別添のとおりです。
問合せ先	<p>企画総務局 政策企画部 広域都市圏推進課（市役所本庁舎11階） 〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号 Tel：082-504-2017 Fax：082-504-2029 Email：kouiki@city.hiroshima.lg.jp</p>

御意見の要旨とそれに対する広島市の考え方

御意見の要旨	広島市の考え方
<p>熊野町、坂町、府中町は広島市に入るべき。</p>	<p>広島広域都市圏は、熊野町、坂町及び府中町を含む 33 市町で構成しており、“都市連盟”とも言うべき強固な信頼関係をベースに、国の「連携中枢都市圏制度」に依拠しながら、ヒト・モノ・カネ・情報の循環を基調とする「ローカル経済圏」を構築し、地域資源を圏域全体で活用する様々な施策を展開することで、圏域経済の活性化と圏域内人口 200 万人超の維持を目指す「200 万人広島都市圏構想」の実現を図ることとしています。</p> <p>この連携中枢都市圏制度は、市町村合併によらずとも、複数の自治体で役割分担や連携を図ることで、人口減少や高齢社会にあっても、今後の地方自治体の行政サービスを持続的に提供していくための仕組みです。</p> <p>引き続き、この制度を活用しながら、「200 万人広島都市圏構想」の実現に向け、熊野町、坂町及び府中町を含む構成市町と共に、様々な連携施策を推進していきたいと考えています。</p>
<p>「歴史・ものづくり・体験」を軸とした、より立体的な観光ルートの構築を提案する。</p> <p>具体的には、北広島町に所在する三上刀匠の工房を拠点とした刀鍛冶体験、邑南町におけるたたら製鉄を生んだ土地の特性を生かしたミニたたら操業や鉄穴流し（かんな流し）体験、更に安芸高田市の毛利元就をはじめとする戦国武将の歴史と結び付けた「戦国・たたら・刀鍛冶」を巡る広域歴史ロマン観光ルートを造成してはどうか。</p> <p>このような取組は、圏域内に点在する文化・歴史資源を有機的につなぎ、滞在型・体験型観光の促進につながるとともに、中山間地域の価値再発見や関係人口の創出にも寄与すると考える。</p>	<p>広島広域都市圏では、歴史的建造物をはじめとした圏域内の様々な観光資源を結び付け、広域的な観光ルートの創出に取り組むとともに、圏域内の文化財及び伝統文化の魅力を発信するため、圏域内の関連する文化施設の連携等に取り組んでいます。</p> <p>御意見については、今後の具体的な取組内容を検討する中で参考にさせていただきます。</p>
<p>スポーツ施設、レジャー施設、散歩道、店舗、商店街、100m 道路といったように、便利がよく、健康も気をつけやすく、車と歩行者が共生しているようなまちづくりをして行ってほしい。</p>	<p>広島広域都市圏では、圏域全体が自律的・持続的な発展をしていくまちづくりを実現し、圏域内のどこに住んでいても豊かな暮らしを送ることが可能となる圏域の形成を目指しています。</p> <p>御意見については、今後の具体的な取組内容を検討する中で参考にさせていただきます。</p>